
**TOKYO FM『シナプス』特別企画“復興応援ライブ”
故・坂本九さんの長女、大島花子さんが生出演**

**TOKYO FM 半蔵門スタジオから被災地を思い、
『見上げてごらん夜の星を』と『上を向いて歩こう』など3曲を歌いました**

2011年4月18日(月) 15:20~15:45

故・坂本九さんの娘であり、ミュージシャンの**大島花子**が、2011年4月18日(月)、15時20分から、TOKYO FM『シナプス』(毎週月~木曜日 13:00~16:00)の TOKYO FM 半蔵門スタジオでの生放送に登場いたしました。

番組では、TOKYO FM『シナプス』のパーソナリティ、やまだひさしと共に、1 児の母として感じた東日本大震災発生前後の生活の変化や被災地で行ったチャリティ活動、父を事故で失った自身の経験から“困難を乗り越える”という事について語りました。

また、生放送内で、『見上げてごらん夜の星を』と『上を向いて歩こう』、そして震災後、「仙台に住む、幼子の母でもある友人のためにつくった」というオリジナル曲『Lumiere(※)』の3曲を歌いました。

(※) Lumiere は、フランス語で“光”の意

(※) この曲の CD は、被災地の女性と妊婦を応援する JOICFP(ジョイセフ)の HP でチャリティ販売されます。

【JOICFP(ジョイセフ)HP】http://www.joicfp.or.jp/jp/donation/tohoku_earth_quake/

下記に本日の放送の様様とゲストによるコメントの一部を記載致しますので、本件、是非ともご掲載賜りますよう、宜しく御願ひ申し上げます。

■本日の放送内のコメント

大島花子 (どのように父・坂本九さんの死を乗り越えた?との質問に、)人のあたたかさとか色々な要素はあったんですけど、1 番は時間でした。私は、(父が航空機墜落事故にまきこまれ亡くなった)山に登るまで20年かかりました

大島花子 (東日本大震災が発生した際、)もし父が生きていたら、まっさきに(被災地に)歌を歌いに行っていたんじゃないかな

大島花子 (『見上げてごらん夜の星を』をスタジオで歌った後に、)父の思いも感じながら、本当にあなたの幸せを願っている人は必ずどこかにいるよ、という気持ちで歌いました

大島花子 (オリジナル曲『Lumiere』について、)「微力は、無力とは違う」というある人の言葉を聞いて作った曲。仙台に住んでいるママ友と一緒に3月31日に行ったチャリティイベントで披露しました